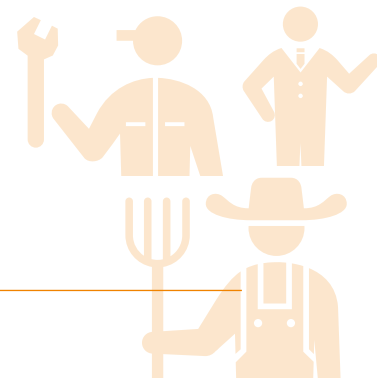




日本化薬グループは、お客様に最良の製品を提供するため、品質体制を整備し全社的に品質活動を行っています。また、製品品質の向上や安全性・信頼性に配慮し、技術サービスや情報提供がお客様の満足度向上につながるように活動しています。



品質に対する取り組み

日本化薬グループでは、お客様の満足する最良の製品を提供し続けるために「環境・健康・安全と品質に関する私たちの宣言*」を基本方針とし、全社的に品質に対するさまざまな取り組みを展開しています。

品質経営推進部が中心となり、品質マネジメントシステムを構築し、お客様の満足度を向上させる品質保証・品質向上の活動を推進しています。品質保証活動としては、品質管理技術力を強化・向上させるための各種教育活動に取り組んでいます。その中の特徴的な活動の一つとして、統計解析手法の実践的な研修があり、研究者や開発者向けと工場従業員向けの“Field Data解析～おもしろ体得塾～”をそれぞれ実施しています。また、品質向上活動の一つとして「品質改善事例集」を発行し、品質改善手法の普及に努めています。

これら品質マネジメントシステムが有効に運用されていることを確認するために国内各事業場と海外を含むグループ会社の品質診断を実施しています。



“Field Data解析～おもしろ体得塾～”の研修風景。複雑な因果関係を机上で論理的に解き、その論理が実現することを実験で確認します。

※環境・健康・安全と品質に関する私たちの宣言：
日本化薬ウェブサイト CSR情報 環境・安全衛生・品質マネジメントシステム参照
<http://www.nipponkayaku.co.jp/csr/environment/>

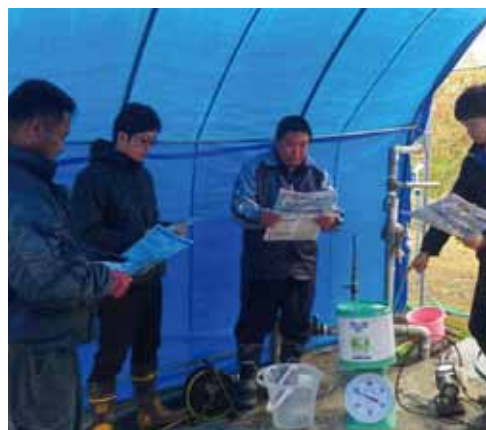
農薬の安全使用説明会の開催

アグロ事業では「クロルピクリン」を有効成分とする「カヤククロールピクリン」、「ドジョウピクリン」、「クロピクフロー」などのクロルピクリン剤を取り扱っています。

これらの製品は、土壌中に病原菌や害虫を防除する土壌くん蒸剤として、農作物の栽培には不可欠な農薬となっています。安定した効果の高さや作物に残留しないなどの特性から広く使用されています。

効果の良さと裏腹に、クロルピクリンは劇物に指定されており使用には注意が必要です。気化しやすいため目やのどを痛め、最悪の場合、命に関わる事故につながる可能性があるため、細心の注意を払って取り扱わなければなりません。

そのため、アグロ事業では説明会や使用前の説明指導を随時開催し、お客様に効果のみならず、安全使用について説明・指導しています。



大分県臼杵市野津町のピーマン農家。野津町はピーマンの産地で、約100名の方が栽培されています。